

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年9月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2019年9月6日～9月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 123社
- 回収率 61.5%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の8月の状況を見ると業況DIは、前月より1.0ポイント悪化の▲17.1となった。

2017年9月以来25ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲18.7、当月に比べ1.6ポイントの悪化が見込まれる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2019年10月～ 12月
業況	▲18.9	▲13.0	▲16.3	▲16.0	▲16.1	▲17.1	▲18.7
売上	▲6.1	▲10.4	▲11.4	▲8.0	▲3.2	▲4.1	▲8.2
採算	▲15.5	▲13.1	▲15.5	▲16.0	▲12.1	▲12.2	▲15.4
仕入単価	▲47.4	▲40.9	▲44.7	▲41.6	▲29.9	▲34.1	▲44.7
販売単価	6.0	16.5	1.6	5.6	2.5	4.9	9.7
従業員	35.4	33.0	39.1	37.6	35.5	36.6	37.4
資金繰り	▲9.5	▲4.3	▲8.1	▲6.4	▲7.3	▲4.9	▲6.5

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2019年10月～ 12月
建設	▲17.8	▲11.1	▲13.8	▲3.5	▲6.7	▲16.1	▲25.8
製造	▲25.8	▲10.0	▲9.4	▲19.3	▲19.3	▲13.8	▲17.3
卸売	▲8.7	0.0	▲15.4	▲16.7	▲12.0	▲4.1	▲4.2
小売	▲20.0	▲31.3	▲25.0	▲22.2	▲15.8	▲16.7	▲16.6
サービス	▲21.1	▲20.0	▲25.0	▲20.8	▲31.6	▲38.1	▲28.5

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的事業継承を模索している。社員の意欲高揚を図りたい。（総合工事）</li> <li>・民間投資設備が減少している（設備・その他）</li> <li>・公共・民間とも工事受注量の減少、消費増税等によるコストの増加。慢性的な人手不足と建設業界の担い不足は深刻な状況にある。（設備・その他）</li> <li>・消費税アップ後の工事請負契約に不安が増大している。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年はブラックアウトの影響で約 1,000 万近く落ち込んだが、今年の9月は回復し売上増となった。資金的及び営業展開よりも人材の問題（人手不足）で今後の会社計画が企たない。当面現状のやり繰りの延長。（食料品）</li> <li>・来春の採用が計画通りに進んでいない。需要が低下していることによる売上の減少。（印刷・出版）</li> <li>・受注遅れで生産体制に影響が出てきている。今後の見通しは決してよい状態にない。（家具・木材）</li> <li>・消費税率上昇前の納期前倒しの影響が多少有り、当社主要資材のアルミの価格が下がったので採算が好転。（金属窯業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と同等の業況。（機械鋼材）</li> <li>・灯油の仕入値は上昇傾向にあるものの、先行きは不安定である。（その他）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年10月より消費税が10%になるが、駆け込み需要は衣料品（洋服）に関してはまったくない。又、9月の気温が高く暑かったため、日中は夏物で十分過ごせた。来店客も少なく売上が大変厳しい。（衣料品）</li> <li>・従業員不足で販売活動に影響がでている。（その他）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道観光により当社リネンサプライ業はここ数年売上が上昇している。その中でも特にニセコ、札幌方面のリゾートホテルが売上増加。新工場も建てたがすぐに満杯となる。人手については海外ベトナム方面より多数採用し人手不足を補っている。（理美容・クリーニング）</li> <li>・インバウンドにおける観光の割合は、弊社の場合少なく韓国問題は直接には影響がないが、全体の需要としては弱いため単価や稼働率に影響がある。なんとか売上が前年並みに想定。（ホテル・旅館）</li> <li>・新規顧客からの受注も含め、民間工事が活発で売上を伸ばしている。（その他）</li> <li>・売上はかなり低調。日用品の買いだめに皆がお金を使っている。増税、軽減税率に備えるため、レジの入れ替え・設定、告知ポップ等の製作等で大混乱している。（飲食）</li> <li>・韓国および香港からの観光客の動向。（運送）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI3.3 ポイント改善、採算 DI6.1 ポイント悪化、仕入単価 DI11.7 ポイント悪化、販売単価 DI6.7 ポイント悪化、資金 DI6.7 ポイント改善、従業員 DI1.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 9.4 ポイント悪化となった。業種別では、設備・その他横ばい、総合工事 14 ポイント、建築業 33 ポイント悪化となった。下請業者不足、下請施工単価の上昇、資材価格の高騰との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI3.0 ポイント改善、採算 DI19.2 ポイント改善、仕入単価 DI4.1 ポイント改善、販売単価 DI17.6 ポイント改善、資金 DI6.6 ポイント改善、従業員 DI2.1 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.5 ポイント改善となった。業種別では、家具・木材 5 ポイント悪化、印刷・出版横ばい、食料品 14 ポイント、金属窯業他 10 ポイント改善となった。受注遅れで生産体制に影響が出てきている。今後の見通しは決してよい状態にないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI12.5 ポイント改善、採算 DI7.9 ポイント悪化、仕入単価 DI3.0 ポイント改善、販売単価 DI4.0 ポイント悪化、資金 DI4.1 ポイント悪化、従業員 DI1.2 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.9 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品、機械鋼材横ばい、繊維・衣服等 25 ポイント、その他 14 ポイント改善となった。前年度と同等の業況との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI17.0 ポイント悪化、採算 DI6.1 ポイント悪化、仕入単価 DI5.2 ポイント悪化、販売単価 DI4.7 ポイント改善、資金 DI4.4 ポイント改善、従業員 DI12.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 0.9 ポイント悪化となった。業種別では、その他 10 ポイント改善、衣料品、自動車横ばい、食料品 25 ポイント悪化となった。従業員不足で販売活動に影響がでているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI14.3 ポイント悪化、採算 DI1.7 ポイント悪化、仕入単価 DI10.8 ポイント悪化、販売単価 DI 横ばい、資金 DI3.7 ポイント悪化、従業員 DI4.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 6.5 ポイント悪化となった。業種別では、ホテル・旅館 60 ポイント改善、理美容・クリーニング、その他横ばい、飲食 27 ポイント、整備業 67 ポイント、運送 25 ポイント悪化となった。米中貿易摩擦による取引先の売上減少で影響を受けるとの声も寄せられている。</p>